

Tsumama project

平成26年度 特別経費

芸術文化を起点とした実践的教育モデルの構築

つままプロジェクト

富山大学芸術文化学部教授 大氏 正嗣

つままプロジェクトの成果報告

高岡キャンパス中庭にある「つまま」の木の俗称を由来とする「芸術文化を起点とした実践的教育モデルの構築」プロジェクトは、平成23年4月に開設した大学院(芸術文化学研究科)の実践的教育と地域社会の活性化を一体化した授業形態推進を目標とし、地域連携事業を活用して就業力を身につけた高度な専門職業人である「新時代を担うアーティスト」「クリエイティブ産業のコーディネーター」「新たな地域文化のリーダー」を養成しようとする試みです。

このプロジェクトは平成23年度よりスタートし、具体的な活動として以下に示す8つのプロジェクトで構成されてきました。

1. 地域連携プロジェクト(地域連携活動の統括)
2. ギャラリープロジェクト(芸文ギャラリーの運営他)
3. 開発プロジェクト(県デザイン経営塾他)
4. 文化財修復プロジェクト(曳山修復他)
5. 地域活性化プロジェクト(金屋町楽市、市場街他)
6. まちづくりプロジェクト(まちづくり事業の統括)
7. 創造的教育環境整備プロジェクト(学内を学生作品で埋め尽くそうプロジェクト他)
8. 情報発信プロジェクト(連携キャラバンの実施、提携校との交流他)

平成26年度は4年間に亘るプロジェクトの最終年度に当たり、1年目の体制整備、種々の事業計画スタート、2年目のモデル事業の立案を受け、3年目のモデル事業を明確な形として着実な実施を受けて、プロジェクトの整理をしていく年度と位置づけられました。

プロジェクトを終えて得られた成果は、プロジェクト期間中に招聘した数多くの外部講師による授業の充実、地域活性化プロジェクトである金屋町楽市や高岡クラフト市場街に対する研究性及び学部生の関わり増加と充実、芸文ギャラリーが企画する展覧会の地域貢献としての広がりなど、学部と地域の距離が縮まり、学生たちが地域に飛び出すことで新たな動きが生まれた事です。

実践的な活動を通じて得られた経験により、一般的な講義では得られない、現実の問題解決・複雑な社会の体験など、将来に役立つ数多くの経験を積むことができました。

今後の成果活用に向けて

プロジェクトがスタートした当初関わってきた研究科生は既に修了して社会人として活躍しており、その後2度にわたり新たな研究科生を迎え入れることで世代交代



写真1,2:「木工具演習」伝統的木工手道具についての特別講義(6月)講師に井上刃物店代表の井上時夫さんをお招きして伝統的木工手道具について講義していただきました。日本の指物技法が木工道具と治具の組み合わせによって高い精度と反復生産を可能にしていることを知り、伝統技法への関心を高めるとともに新しい発想への可能性を知る機会となりました。

が進んできました。

つままプロジェクトは平成26年度で終了しましたが、今後も地域と関わる様々な活動は継続します。これまで関わってきた修了生が社会にどのような形で定着していくかを見極め、今後地域連携の取組の中で新たに関わる



写真 3:「課題研究Ⅰ」表具師による和紙の裏打ちに関する特別講義(7月)
全国でも珍しいほど表具が盛んである、地元高岡市の堀田盛喜堂・堀田直樹さんに講師を依頼し、職人技を間近に見て、直接教わることができました。また、地域文化と自分の研究制作との連続を意識することが期待できる実習となりました。



写真 4,5:「LIVINGARTinOHYAMA2014」への参加(8月)
「LIVINGARTinOHYAMA」プロジェクト実習(特別講義)として単位を回り、16名の学生が参加しました。参加学生は、イベントスタッフの一員としての責任を自覚しながら、割り当てられた担当の仕事を通してコミュニケーション力や実行力を養い、イベントの運営について学びました。

研究科生が何を得て経験をどう生かすか、今後も注意深く追跡していくことが必要です。

以下、平成26年度に実施した代表的な事例をいくつか写真を交えながら紹介します。



写真 6:「博物館実習Ⅰ」-漆に恋して-(10月)
芸文ギャラリーでの展示を実践しました。展示の準備をとおして、実際の博物館の企画展で学芸員が行うすべてのプロセスを経験し、互いに協力しながら展覧会を作り上げていく体験を経て、実践力・即戦力を養っています。



写真 7,8:舞台公演「キッズ・パフォーマンス」プロジェクト(10月)
平成22年度に3年計画でスタートした「未来創造プロジェクト-進化する森-」にはじまり、平成25年度から本プロジェクトとして受け継がれました。高岡を中心とした指導者やボランティア団体との協働で、地域芸術を広げています。